

## 放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果（公表）

事業所名 ハッピーテラス入野教室

		チェック項目	はい	いいえ	該当なし	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	1,利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか	100.0%	0.0%	0.0%	利用人数によって机や椅子の数を調整している。	
	2	2,利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか	66.7%	33.3%	0.0%	法定の基準を満たしているが、十分とは言えないので、職員間で話し合いながら工夫して支援している。また、個別の配慮が必要な児童に対して職員がつけるようにしている。	
	3	3,生活空間はこどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか	100.0%	0.0%	0.0%	段差がないようにしている。こどもがみえるような掲示物は、振り仮名を付けるなどして、低学年のこどもも読めるようにしている。	
	4	4,生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100.0%	0.0%	0.0%	朝夕に清掃の時間を作って、清潔を保つようにしている。	
	5	5,必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100.0%	0.0%	0.0%	面談室で宿題を行ったり、クールダウンが必要な児童が一時的に過ごせるようにしている。	同時に利用できる人数に限りがある。
業務改善	6	6,業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	66.7%	0.0%	33.3%	作成した計画を職員に回覧して、意見を述べられるようにしている。	
	7	7,保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	66.7%	33.3%	0.0%	PCやスマートフォンから回答できるようにしている。	
	8	8,職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%	0.0%	毎週、浜松教室と合同でミーティングを行う機会を設けて、そこで出された意見を日々の業務や利用児の支援に活かせるようにしている。	非常勤の職員の参加が難しい。
	9	9,第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0.0%	66.7%	33.3%	第三者評価は行っていないが、ハッピーテラスの本部の職員が事業所の様子を見に来てフィードバックを頂く機会がある。	
	10	10,職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	66.7%	33.3%	0.0%	ハッピーテラス本部や放課後連絡会が主催する研修に定期的に参加している。	
	11	11,適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100.0%	0.0%	0.0%	今年度から公表を行う。	
	12	12,個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	専門的なスキルが求められるので、研修や勉強会に定期的に参加するようにしている。	
	13	13,放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.0%	0.0%	0.0%	作成した計画案について支援に関わる職員から意見を頂いた内容を支援計画に反映している。	
	14	14,放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.0%	0.0%	0.0%	原案も含め、作成した支援計画を回覧してもらい、さらに日々支援目標を意識した関わりができるようにミーティングの際等に話している。	
	15	15,こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	66.7%	0.0%	33.3%	アセスメントツールは十分に活用できていないが、日々のトレーニング等を通じてアセスメントをとれるようにしている。	

適切な支援の提供	16	16,放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100.0%	0.0%	0.0%	本人支援に5領域全てを網羅できるように心掛けている。	小学校低学年の児童に関しては、「移行支援」を計画に反映させるのが難しい。
	17	17,活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	その日に行うトレーニング内容について共有を行い、想定される内容を話し合っている。	
	18	18,活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	予めひと月のトレーニングの内容を決め、重複しないように工夫している。	
	19	19,こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100.0%	0.0%	0.0%	全員ではないが、パソコンを使ったトレーニング等、個別に行う活動も取り入れている。	
	20	20,支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	非常勤の職員にも内容や役割を明確に伝えるようにしている。	
	21	21,支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	業務の関係で毎日行うことは難しいが、気になることがあった際にはその日の支援について振り返りをするようにしている。	
	22	22,日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.0%	0.0%	0.0%	毎日、支援日誌に記録を残すようにしている。	記録の入力のスキルについて個人差がある。
	23	23,定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	期限内に見直しができるように日頃から支援日誌に様子を記載したり、振り返りの内容をまとめている。	
	24	24,放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	身体スキルに関するトレーニングも実施できるようにしている。	
	25	25,こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	レクリエーション活動等でルールやチームの名前を子どもが決められるようにした。	
関係機関や保護者との連携関係	26	26,障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	児童発達支援管理責任者が出席している。	家族や他事業所など複数の参加者がいると日程調整が難しいが、なるべく参加するように努めている。
	27	27,地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	66.7%	0.0%	33.3%		学校とは連携をする体制があるが、医療機関との連携は不十分。
	28	28,学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	児童が利用している学校に定期的に訪問して、児童の様子を伝えたり、事業所での様子を記載した書面をご家族の同意を得てお渡ししている。	
	29	29,就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	33.3%	33.3%	33.3%	浜松市独自の架け橋シートを保護者の了承があれば頂き、情報共有をしている。	
	30	30,学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	33.3%	0.0%	66.7%		該当児童がこれまではいなかったが、今後は高3の卒所者に対して行っていきたい。
	31	31,地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0.0%	33.3%	66.7%	以前は行っていたが、現在実施できていない。ハッピーテラス本部の職員による助言を受けている。	

図 や 保 護 者 と の 連 携	32	32,放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	33.3%	66.7%	0.0%	直接の機会はないが、こども館を利用したり、地域の施設を利用することで交流できるようにしている。	
	33	33,(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	0.0%	66.7%	33.3%		児童の支援時間と重なることもあり、参加が難しい。
	34	34,日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	お迎えに来て頂いた保護者の方にはその日のお子様良かったことを中心にお伝えして、ご家庭でも褒める機会が増えるようにしている。	自力通所の児童の親御さんに対して報告の機会が少なくなるので、時々メール等でお伝えするようになりたい。
	35	35,家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	事業所内でお子様の様子を見て頂きながら、適切な関わり方などを伝える機会を今年度から設けた。	全ての児童の保護者に対して実施するのは難しい。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	36	36,運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	契約時の面談や質問があった際に説明を行っている。	
	37	37,放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.0%	0.0%	0.0%		
	38	38,「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100.0%	0.0%	0.0%		利用の頻度が少なかったり、お迎えに来られない親御さんに対して説明する機会が少なくなる。
	39	39,家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	お迎え時やメール、電話等で相談に応じ、必要があれば事業所内やZoomを利用しながら適切なアドバイスをしている。	
	40	40,父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	33.3%	66.7%	0.0%		
	41	41,こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.0%	0.0%	0.0%		
	42	42,定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	2か月に1回ハッピーテラス通信を発行したり、臨時のお知らせがあれば書面等で配布している。	HPやSNSを十分に活用できていない。
	43	43,個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.0%	0.0%	0.0%		
	44	44,障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.0%	0.0%	0.0%		
	45	45,事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0.0%	100.0%	0.0%		障害や放デイを利用していることをクローズにしたいご家族もいる。
	46	46,事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	66.7%	33.3%	0.0%		
	47	47,業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	年に2回~3回地震や火災を想定した避難訓練を行っている。	
	48	48,事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	契約時のアセスメントで確認している。	

非常時等の対応	49	49,食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100.0%	0.0%	0.0%	契約時のアセスメントで確認したり、緊急連絡先等に情報を記載してもらい職員間で情報共有できるようにしている。
	50	50,安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	66.7%	33.3%	0.0%	
	51	51,子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	33.3%	33.3%	33.3%	
	52	52,ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.0%	0.0%	0.0%	
	53	53,虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.0%	0.0%	0.0%	研修があれば積極的に参加し、参加できなかった職員にも資料をみてもらいながら内容を共有している。
	54	54,どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	委員会で協議した内容を個別支援計画に記載している。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。